



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月12日

上場会社名 森下仁丹株式会社 上場取引所 東
コード番号 4524 URL <https://www.jintan.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森下 雄司
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部長 (氏名) 吉田 秀章 TEL 06-6761-1131
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	9,596	2.5	485	△48.7	525	△46.8	350	△52.3
2024年3月期第3四半期	9,363	12.0	946	72.2	988	68.3	735	66.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 400百万円 (△49.6%) 2024年3月期第3四半期 794百万円 (4.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	85.71	—
2024年3月期第3四半期	180.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	17,646	12,351	70.0
2024年3月期	17,183	12,144	70.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 12,351百万円 2024年3月期 12,144百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,700	2.4	850	18.7	900	10.3	700	0.4	171.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	4,150,000株	2024年3月期	4,150,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	58,915株	2024年3月期	64,182株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	4,088,803株	2024年3月期3Q	4,084,256株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済の景気は、一部に弱い動きが残るものの、緩やかに回復しています。個人消費は物価高の影響から一部に弱い動きが見られますが、持ち直しております。政府は2024年2月の月例経済報告で、景気の基調判断を「このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している」へ下方修正した後、8月に「一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している」へ上方修正しております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、コンシューマー事業におきましては、引き続きナショナルブランド品の「ビフィーナ®」を中心に、国内販売が堅調に推移しております。さらに、腸内細菌が産生する短鎖脂肪酸の重要性に着目し、腸までダイレクトに届ける大腸送達カプセル技術を開発しております。2025年4月には、この技術を活用した新製品「タンサ脂肪酸」を発売予定となっております。また、短鎖脂肪酸の認知と理解促進を目的に「一般社団法人 短鎖脂肪酸普及協会」の一員となっており、今後も、生活者の短鎖脂肪酸への認知度・理解度・期待値を高める活動を推進し、多くの方の「おなかの健康」に寄与してまいります。

ソリューション事業におきましては、可食分野におけるシームレスカプセル受託および機能性素材の販売が引き続き順調に推移しております。2024年10月には、食品の4大テーマである健康、おいしさ、安全・品質、フードロングライフに関わる専門展示会「食品開発展2024」に出展し、機能性素材（ローズヒップエキス、カシスエキス、サラシアエキス）の紹介、多くの治験と豊富な実績を持つ当社のシームレスカプセル技術の多様性と汎用性について幅広く情報発信しました。今後も、高付加価値シームレスカプセルの開発・製造、オープンイノベーションによるパートナーとの共創を推進してまいります。また、そこで得られた知見を新たなシームレスカプセル技術開発に応用するサイクルを構築して、社会へシームレスカプセル技術を通じたソリューションの提供を続けてまいります。

売上面では、ソリューション事業が増収したものの、コンシューマー事業が減収し、全体としては微増となりました。利益面では、当社が製造販売を行っていた化粧品「販売名：仁丹パックシートH」の自主回収に伴う費用を第2四半期に計上したことにより、減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高9,596百万円（前年同四半期比2.5%増）、営業利益485百万円（前年同四半期比48.7%減）、経常利益525百万円（前年同四半期比46.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益350百万円（前年同四半期比52.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

① コンシューマー事業

コンシューマー事業は、ナショナルブランドを強化し、グローバルな視点で戦略を見直すことで収益性の見直しを推進しております。当セグメントにおきましては、「ビフィーナ®」を中心に、国内販売が堅調に推移しておりますが、一部のアジア地域では売上が低迷、さらに自主回収に伴う費用を第2四半期に計上したことにより減収となりました。

当セグメントにおきましては、売上高は、3,586百万円（前年同四半期比11.9%減）、セグメント損失は、79百万円（前年同四半期は、セグメント利益297百万円）となりました。

② ソリューション事業

ソリューション事業は、当社独自のシームレスカプセル技術や機能性素材を活かすことで、顧客の課題解決を実現しております。当セグメントにおきましては、シームレスカプセル、機能性素材およびジェネリック医薬品の販売が前年同四半期と比べ増収となりました。今後もパートナー企業やアカデミアとの共同研究により、シームレスカプセルや機能性素材を用いた社会課題解決への取り組みを展開してまいります。

当セグメントにおきましては、売上高は、6,004百万円（前年同四半期比13.6%増）、セグメント利益は、559百万円（前年同四半期比12.8%減）となりました。

③ その他

当セグメントにおきましては、売上高は、5百万円（前年同四半期比19.1%減）、セグメント利益は、5百万円（前年同四半期比19.1%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は7,483百万円となり、前連結会計年度末に比べ430百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が383百万円増加したことによるものであります。固定資産は10,163百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円増加いたしました。これは主に機械装置及び運搬具（純額）が91百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、17,646百万円となり、前連結会計年度末に比べ462百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,452百万円となり、前連結会計年度末に比べ226百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が1,000百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,842百万円となり、前連結会計年度末に比べ28百万円増加いたしました。これは主に約定返済により長期借入金が68百万円減少しましたが、繰延税金負債が130百万円増加したことなどによるものであります。この結果、負債合計は、5,294百万円となり、前連結会計年度末に比べ255百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は12,351百万円となり、前連結会計年度末に比べ207百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が146百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は70.0%（前連結会計年度末は70.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年5月9日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,092	1,166
受取手形及び売掛金	2,442	2,825
商品及び製品	1,063	1,096
仕掛品	1,048	920
原材料及び貯蔵品	1,074	1,079
その他	343	406
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	7,053	7,483
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,657	1,657
機械装置及び運搬具（純額）	993	1,085
土地	2,150	2,150
その他（純額）	593	470
有形固定資産合計	5,394	5,364
無形固定資産	278	245
投資その他の資産		
投資有価証券	4,387	4,467
その他	69	86
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,456	4,553
固定資産合計	10,130	10,163
資産合計	17,183	17,646

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,336	1,144
短期借入金	—	1,000
1年内返済予定の長期借入金	164	109
未払費用	539	457
未払法人税等	207	0
賞与引当金	225	228
その他	752	512
流動負債合計	3,226	3,452
固定負債		
長期借入金	106	38
繰延税金負債	928	1,058
退職給付に係る負債	710	687
その他	68	58
固定負債合計	1,813	1,842
負債合計	5,039	5,294
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,537	3,537
資本剰余金	969	972
利益剰余金	5,706	5,852
自己株式	△108	△99
株主資本合計	10,104	10,262
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,037	2,087
退職給付に係る調整累計額	2	2
その他の包括利益累計額合計	2,039	2,089
純資産合計	12,144	12,351
負債純資産合計	17,183	17,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	9,363	9,596
売上原価	4,709	5,275
売上総利益	4,654	4,320
販売費及び一般管理費	3,708	3,835
営業利益	946	485
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	40	43
その他	3	2
営業外収益合計	44	46
営業外費用		
支払利息	1	3
その他	0	2
営業外費用合計	2	5
経常利益	988	525
特別利益		
負ののれん発生益	5	—
特別利益合計	5	—
税金等調整前四半期純利益	993	525
法人税、住民税及び事業税	275	70
法人税等調整額	△16	104
法人税等合計	258	175
四半期純利益	735	350
親会社株主に帰属する四半期純利益	735	350

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	735	350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	49
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	58	49
四半期包括利益	794	400
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	794	400

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	コンシュー マー事業	ソリューシ ョン事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,072	5,284	9,356	7	9,363	—	9,363
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,072	5,284	9,356	7	9,363	—	9,363
セグメント利益	297	641	939	7	946	—	946

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	コンシュー マー事業	ソリューシ ョン事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,586	6,004	9,590	5	9,596	—	9,596
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,586	6,004	9,590	5	9,596	—	9,596
セグメント利益又は損 失(△)	△79	559	479	5	485	—	485

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、顧客グループの特性やニーズに合わせた戦略立案、リソース配分の最適化、効果的アプローチによる企業価値の向上を目的に経営管理区分の見直しを行ったことに伴い事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「ヘルスケア事業」「カプセル受託事業」から、「コンシューマー事業」「ソリューション事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	432百万円	427百万円